

おおさか・すいたハウス 移転支援の寄附金2億円達成

平成28年2月から募集が行われていた「おおさか・すいたハウス移転支援寄附」について、29年11月に目標額の2億円に到達したと国立循環器病研究センターと吹田市が発表した。「おおさか・すいたハウス」は、日本最先端の医療機関である同センターに入院する重度の心臓病等の小児患者の家族が、1日あたり1,000円と少ない負担で滞在できる施設。これまで延べ6,000世帯以上の家族が利用し、多くのボランティアスタッフと寄附によって運営されている。31年7月に予定されている同センターの北大阪健康医療都市（健都）への移転に伴い、同ハウスの移転新築に



(上)現在のおおさか・すいたハウス。
(左)28年5月に万博公園で開催された「ロハコフェスタ万博」で行った、おおさか・すいたハウス移転支援寄附のPR。

必要となる費用の一部を賄うため、吹田市のふるさと納税も活用しながら、各方面から支援を募ってきた。集まった寄附金は、移転先建物の建設費用や開設に必要な備品購入費用、引越し費用などに充てられ、必要額を超えた寄附金については施設の運営に活用される。新ハウスは4月に建設工事が開始し、31年7月にオープンする予定。

思いがけない妊娠の悩み 電話相談の窓口開設

NPO法人「こうのとりのゆりかご in 関西」(箕面市)は、望まない妊娠により悩みを抱えている人のために、匿名でも電話相談(通話有料)ができる「こうのとりにんしんSOS」を開設する。同法人は、「こうのとりのゆりかご(赤ちゃんポスト)」を全国で初めて開設した慈恵病院(熊本市)の理念に賛同し、関西にも同様のポスト設置を目指している。それに先駆けて電話相談を2月中頃に始める見通し。研修を受けた助産師や看護師、社会福祉士などの対人援助経験者が対応に当たる。開始当初は通常相談(平日10時~16時、土曜日17時~21時)のみだが、24時間対応す



※写真はイメージです。

る、急な体調不良などの緊急相談も準備中とのこと。

また、神戸市北区のマナ助産院と連携して、匿名での対面相談が可能な「面談型こうのとりのゆりかご」の開設に向けた準備を進めている。対面相談を受けた後は、匿名での診察も検討中である。

開設以降の電話相談の番号は、050-3033-0705。詳しくは、「こうのとりのゆりかご in 関西」HPで。

太陽の塔 内部一般公開 48年ぶり

大阪府は、太陽の塔内部の一般公開の開始を平成30年3月19日に決定した。塔内部の一般公開は、大阪万博の閉幕以来48年ぶり。1日に入館できる人数に制限があること、かなりの混雑が予想されることから、入館は予約制(先着順)となっている。4カ月前までの予約が可能。入館料は大人700円、



(上)地下に展示されていた「地底の太陽」の復元イメージ。
(右)塔内の復元展示イメージ。

小中学生300円。別途自然文化園入園料が必要。太陽の塔は、塔の耐震工事の実施と、万博当時に展示されていた内部展示物を復元・再生するため、平成28年10月より工事が進められていた。

最先端設備を導入した アスクルの物流拠点、2月全面稼働へ

アスクル株式会社(本社:東京都江東区)は吹田市岸部(岸部南3丁目34-1)に同社最大の物流拠点となる「ASKUL Value Center 関西」(以下「AVC関西」)を今年2月から稼働する。AVC関西は同社では8拠点目の物流センターとなり、延床面積約16万5000平方メートル(約5万坪)、地上4階建て、流通業における1社単独の物流施設としては関西最大級となる。今後同社最大の基幹物流センターとして「ASKUL(アスクル)」と「LOHACO(ロハコ)」の物流を担う。

雇用面では、立地の良さと職場環境を整え、将来的に約1000人の雇用を創

出する予定だ。

防災面では、防火シャッターを確実に作動させるための設備などの増強や、地域消防と連携した事前消防計画の検討などの防火対策を行う方針。さらに、大規模災害に備え、強固な免震構造も採用している。

1月18日には、同社などと市による災害時協定調印式が行われた。

吹田市が災害時に、全国から届く救援物資を集積し、荷さばきや搬出などの拠点としてAVC関西を活用でき、アスクルは食料や生活必需品などを市に有償で提供する。物資の集積などについては、施設を建てた企業を含む3者で協

定を結んだ。アスクルの岩田彰一郎社長は「末永く地域の皆さまと一緒に進んでいきたい」と語った。



万博公園を民間事業者が管理 吉本興業など9社の団体を選ぶ

大阪府は府立万国博覧会記念公園の指定管理候補者として、吉本興業など9社による団体を選んだと発表した。期間は今年10月から10年間。今年2月の府議会で議決を得て指定管理者の指定が行われる見通し。

府は民間事業者の柔軟で優れたアイデアや活力を導入し、文化・観光拠点化の取組

み、さらなる魅力創出やにぎわいづくりなどを図るため、指定管理者制度の導入を決めた。選定委員会による選考の結果、吉本興業や博報堂、JTBなどによる団体が選ばれた。

同団体はバラ園の拡充や藤棚の新設、能や狂言のイベントが鑑賞できる日本食レストランを設置するなど、新たな魅力づくりも進めていく考えだ。



日本初 観覧車内に プロジェクションマッピング

EXPOCITY内に立つ高さ日本一の大観覧車「レッドホース オオサカホイール」は、国内初となるゴンドラ内のプロジェクションマッピングサービスを開始する。音と光による特別演出を楽しめるのは、2基ある豪華内装の「VIPゴンドラ」内。「大阪の過去・現在・未来」をテーマにしたオリジナル映像を投射し、窓



乗車時間は約18分で、「VIPゴンドラ」は8,000円(定員4名)。プロジェクションマッピングによる追加料金は不要。

から見える実際の大阪の夜景をオーバーラップさせながら、新感覚の演出を楽しめる。早ければ3月から常設でのサービスを開始する。担当者は「恋人や夫婦のデートはもちろん、記念日や思い出づくりに老若男女問わず楽しんでもらいたい」と話す。

「キャッシュカード預かります」「暗証番号教えて」は詐欺の手口〜

協力:大阪府警察

認知件数	H29年	H28年	増減	
			件数	増減率
	1,597	1,633	-36	-2%
	1,573	1,567	6	0%
振り込み詐欺	486	405	81	20%
架空請求	502	381	121	32%
融資保証金	41	56	-15	-27%
還付金等	544	725	-181	-25%
振り込み詐欺以外特殊詐欺	24	66	-42	-64%
金融商品等	11	54	-43	-80%
異性紹介	1	1	0	0
キャンセル情報	12	9	3	33
その他	0	2	-2	-100%

大阪府下の特殊詐欺認知件数(暫定値)

先日、平成29年の大阪府内の特殊詐欺発生状況(暫定値)が発表された。認知件数は1,597件(-2%)とわずかに減少、被害額は約37億5千万円と約15億円もの減少となり、平成23年からの統計以来、被害額が減少したのは初めて。

しかし、「架空請求」は平成28年より被害額は減っているものの、認知件数は32%の増加。また、昨年9月頃より高齢者から暗証番号を聞き出した上、キャッシュカードをだまし取り、ATMで現金を引き出すという手口が増加傾向にある。この手口は、

百貨店や家電量販店、銀行協会などを名乗り、「キャッシュカードが悪用される」「悪用されないように処理するので暗証番号を教えて」「キャッシュカードを交換する」などと電話をかけ、キャッシュカードをだまし取るというもの。このようなことがあれば、家族や警察に相談を!

被害に遭わないために

- 暗証番号は人に教えない
- キャッシュカードは他人に預けない